

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス レアール				公表日	2025 年 3 月 21 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		特性や活動内容に応じて部屋をわけている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		定められた職員数で配置されている。	スタッフを充足する為、求人募集はおこなっている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		玄関等に手すりを設けている。	玄関までに階段があるが建物の構造上スロープにすることが不可能。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		清潔さを保つため、毎日の清掃、空気清浄機はいつも稼働させている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		簡易更衣室を設置し、個別の部屋を確保している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		定期的なミーティングをおこない、各職員が必要時に話し合いを行う事で業務改善に努めている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		随時、実施している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		日々の朝礼等で業務改善につなげている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		現在、外部評価はおこなえていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	支援方法・防災や資質向上に向けた研修の機会は確保している。	外部研修の回数を増やしていく。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		保護者用を含め公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		半年に一度以上は必ずモニタリングをおこない、保護者や利用者さんと共に目標を定め確認後に計画作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		原案をみんなで共有し、共通理解の元おこなっている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		情報を共有しながらおこなっている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		個々のニーズに合わせて支援内容を設定するように努めている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		スタッフ間で話し合いを行っている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		個々の取り組みが出来るように工夫をしている。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		個別活動と集団活動とのメリハリをつけおこなっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		共有しながらおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			非常勤職員の退勤時間が異なる為、朝礼で行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		支援記録を元に振り返っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に一度行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			地域交流の機会は中々なく設ける事が出来ないが同じ町内にある就労B型事業所と合同訓練等はおこなっている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		「やる。」「やらない。」「行く。」「行かない。」の強制はせず行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		内容は職員全員に報告されている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		毎年、更新をおこなっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			学校により非協力的な所もあるが、こちらから発信して確認をとるようにしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		現在、利用者に児発から就労した対象な方がいない為。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		未回答 1名	個人情報となる為、必要に応じておこなう。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		関係を深めていき連携できるように努めている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2		戸外活動に参加し、他児との交流はあるが放課後クラブ等の交流はない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2		参加するように努めていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時の際や、電話にて伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2		支援プログラムの内容はお伝えするが保護者参加型で研修はおこなっていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		おこなっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		送迎時や連絡帳や定期的な面談を通して設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		同意及び署名・捺印を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		出来る限り傾聴し出来る限りおこなっている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	毎年、保護者会は開催している。	きょうだい同士で交流する機会は設ける事が出来ていない為、検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			いつでもおこなえるように対応しているが、今の所苦情はない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		利用予定表を使用し行事予定を発信している。	SNSは個人情報を守る為、行っていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		十分に注意をはらっている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		方法を一緒に見つけ必要な情報がいきわたるように努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4		地域の方と会話等はおこなうが地域交流のものは地域の方の意向によりおこなえてない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアルを策定し、防災センターに行き想定した訓練もおこなっている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		避難訓練を年に4回は実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		保護者に服薬や状況確認をおこなっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			食物アレルギーに対して確認、対策をおこなっている。現在、対象になる方の利用はない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		緊急連絡先をご家族と事業所で共有している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		職員全員で周知し再発防止に向け朝礼でおこなうようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		定期的に研修を設けたり、外部研修もおこなっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		重要事項説明の際に説明をおこない、やむを得ない際には了解を得ている。		